



# 日本 メイクアップ 技術検定試験

公式テキスト

改訂版

MAKE UP  
TECHNICAL  
TEXT

GRADE

2 & 3



日本メイクアップ技術検定協会

## 一般社団法人JMA(日本メイクアップ技術検定協会)について

JMA(日本メイクアップ技術検定協会)は、メイクアップの基礎技術に関する指導方法と審査基準の確立・普及を通じて技術水準の向上に貢献し、メイクアップを職業とする人々の社会的地位の向上を志し、公正で実践的な価値のある検定試験と教育を提供する機関として2004年7月1日に設立されました。

現在では、メイクアップ技術だけでなく、メイクアップに関する知識や社会人男性の身だしなみ全般に関する検定試験や教育プログラムも実施しています。

これらの活動は、日本全国の美容専門学校・大学・メイクスクール・化粧品メーカー・美容サロン・一般企業など、幅広く展開されています。

JMAは、以下の「経営理念」を組織運営の基本に据え、メイクアップを通じて多くの人々が幸せになることを願い日々活動を続けています。

### 【経営理念】

- 美容業界に対して、公正かつ活用価値の高いメイクアップの検定と教育を、高い倫理観と規律をもって提供する
- メイクアップを職業として志す人や職業としている人の潜在能力を存分に引き出すと共に、当人の励みとなり、自信となり、誇りとなるような検定と教育を実施する
- メイクアップに関心のある人々の「彩りある人生の実現」を支援する検定と教育を創り続け実践していく

# contents

## 日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 2級3級

3級試験要項	P3
3級試験持参物一覧	P4
3級試験の流れ	P5
3級試験のセッティングと仕上げ	P6
2級試験要項	P7
2級試験持参物一覧	P8
2級試験の流れ	P9
2級試験のセッティングと仕上げ	P10

### | Lesson 1 | **メイクアップの前に** ..... P11

メイクアップの効果	化粧品の定義
メイクアップツール	肌色の知識
道具の手入れ	肌のトラブルとメイクアップでの修整
パーツの名称	顔のバランスの分析
顔の成り立ち	色彩とメイクアップ
皮膚の生理作用	メイクアップの錯視効果
スキントypes (肌質)	メイクアップの前に 事前準備
季節と肌	技術中のスタンス
紫外線(Ultra Violet)	

### | Lesson 2 | **スキんケアテクニック** ..... P61

スキんケアテクニック
ポイントメイククレンジング
クレンジング
化粧水
乳液・美容液

### | Lesson 3 | **基本のベースメイクテクニック** ..... P93

基本のベースメイク	コンシーラー
メイクアップベース(化粧下地)	フェイスパウダー
コントロールカラー	ベースメイクの仕上げの確認
ファンデーション	

### | Lesson 4 | **チーク・ハイライト・ローライト** ..... P111

チーク	ハイライト・ローライト
-----	-------------

### | Lesson 5 | **ベースメイクテクニックⅡ** ..... P119

ファンデーションブラシテクニック	パウダーブラシテクニック
------------------	--------------

### | Lesson 6 | **ポイントメイクテクニック** ..... P125

アイブロウ	ビューラー・マスカラ
アイシャドウ	リップ
アイライン	2級試験課題の仕上げの確認

# 3級試験要項

<p><b>試験概要</b></p>	<p>自身が準備したモデルに対し、ポイントメイククレンジングからベースメイク、チーク・ハイライト・ローライトまでの実技を行う</p> <p>事前準備(8分)→事前準備の審査→ポイントメイククレンジング～クレンジング(10分)→中間審査→化粧水～ベースメイク～チーク・ハイライト・ローライト(15分)→最終審査</p>
<p><b>合格基準</b></p>	<p>JMA認定講師(JMAのジャッジシートに基づく)による審査</p> <p>100点満点中、80点以上で合格</p>
<p><b>試験項目</b></p>	<p>手指消毒</p> <p>スキンケア(ポイントクレンジング・クレンジング・化粧水・乳液)</p> <p>基本のベースメイク (メイクアップベース・コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー)</p> <p>チーク・ハイライト・ローライト</p>
<p><b>試験規定</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セッティングはテキストの通りに並べる</li> <li>・道具・手技はテキストに沿ったものにする</li> <li>・モデルに対してテキストに記載の添え手、目線の誘導、声かけを行う</li> <li>・メイクアップベース・コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラーはスパチュラを使用する</li> <li>・ファンデーションはハンドテクニックで仕上げた後、スポンジでパッティングをして馴染ませる</li> <li>・フェイスパウダーはパフで仕上げた後、ブラシで払う</li> <li>・ハイライト・ローライトは卵型の顔型に近づくようにモデルの骨格に合わせて仕上げる</li> <li>・チークはモデルの骨格に合わせて仕上げる</li> <li>・肌の質感はハーフマットに仕上げる</li> <li>・必要な声掛け以外にモデルと会話はしない (必要な声掛けとは「失礼いたします」「目を開けて斜め上を見てください」「クレンジングをしますね」など)</li> <li>・試験終了時、ダッカードール・ケープ・膝掛けは外さない</li> <li>・試験時間内にセッティングを整えて元の状態に戻す</li> </ul>
<p><b>モデル規定</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16歳～54歳までの女性に限る</li> <li>・アートメイク・まつ毛パーマ・まつ毛エクステンション不可</li> <li>・試験会場に入る前までにフルメイクをしておく(ベースメイク・アイブロウ・上まぶたのアイシャドウ・アイライン・マスカラ上下・チーク・ハイライト・ローライト・リップ(グロス不可))</li> <li>・試験中に受験者にアドバイスをしない</li> <li>・襟の空いた洋服を着る</li> <li>・試験中のマナーに気をつける(著しくマナーが悪いと試験官が判断した場合、受験者の減点対象とする)</li> </ul>
<p><b>失格対象項目</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻(試験説明開始時刻までに受付を済ませていない場合)</li> <li>・テキスト、他の受験者を見てセッティング・技術を行なった(カンニング行為)</li> <li>・モデルからのアドバイスがあった</li> <li>・試験官の指示に従わない</li> <li>・道具の貸し借りを行なった</li> <li>・審査中、試験終了の合図の後に手を加えた</li> <li>・試験時間内に項目が終了しなかった</li> <li>・無断退室をした</li> </ul>

# 3級試験持参物一覧

ツール類	<input type="checkbox"/>	ケープ	モノトーン無地(フェイスタオルで代用可。タオルの場合はクリップを持参)
	<input type="checkbox"/>	膝掛け用タオル	モノトーン無地フェイスタオル
	<input type="checkbox"/>	セッティング用タオル	モノトーン無地フェイスタオル
	<input type="checkbox"/>	ゴミ袋とセロハンテープ	ゴミ袋サイズは25cmX35cm程度(テーブルの上にゴミ箱を置くでも可)
	<input type="checkbox"/>	A4サイズ以上のスタンドミラー	モデルの顔全体が映り自立するもの
	<input type="checkbox"/>	ティッシュペーパー	三角に四つ折りしたもの(ボックスのまま、ポケットティッシュ使用不可)
	<input type="checkbox"/>	コットン	6cmX8cm程度の大判のもの(両端をプレスしたものは不可)
	<input type="checkbox"/>	綿棒	白(先の尖ったものは不可)
	<input type="checkbox"/>	スポンジ	厚みのあるもの
	<input type="checkbox"/>	パウダーパフ	直径9cm程度の大判のもの
	<input type="checkbox"/>	髪留め用ヘアピン類	ダッカール・ダブルピン・シングルピンなど
	<input type="checkbox"/>	スパチュラ	パレット・ミクロスパーテルの併用可(スパチュラは必須)
<input type="checkbox"/>	消毒液	コットンに含ませて使用できるもの (詰め替える場合は消毒液と記載したラベルを貼る)	
ブラシ類	<input type="checkbox"/>	ブラシ類	フェイスパウダー・チーク・ ハイライト・ローライトの施術はブラシ必須
化粧品類	<input type="checkbox"/>	ポイントメイクリムーバー	
	<input type="checkbox"/>	クレンジングローション	
	<input type="checkbox"/>	化粧水	
	<input type="checkbox"/>	乳液	
	<input type="checkbox"/>	メイクアップベース(化粧下地)	肌に色がつかないもの
	<input type="checkbox"/>	コントロールカラー	2色以上
	<input type="checkbox"/>	リキッドファンデーション	2色以上
	<input type="checkbox"/>	コンシーラー	2色以上
	<input type="checkbox"/>	フェイスパウダー	ルースタイプ(プレストタイプ不可)
	<input type="checkbox"/>	チーク	パウダータイプ
	<input type="checkbox"/>	ハイライト	パウダータイプ
	<input type="checkbox"/>	ローライト	パウダータイプ

※化粧品は既製品に限り、テスター・トラベルサイズ・他ボトルへの詰め替え不可

# 3級試験の流れ

## ■3級試験の流れ



# 3級試験のセッティングと仕上がり

## ■セッティング

セッティングのポイントは、「清潔」「整理整頓」です。



## ■3級試験課題の見本



## 2級試験要項

<b>試験概要</b>	自身が準備したモデルに対し、化粧水からベースメイク、ポイントメイクまでの実技を行う 事前準備(8分)→事前準備の審査→化粧水～ベースメイク～ポイントメイク(40分)→最終審査
<b>合格基準</b>	JMA認定講師(JMAのジャッジシートに基づく)による審査 100点満点中、80点以上で合格
<b>試験項目</b>	手指消毒 スキンケア(化粧水・乳液) 基本のベースメイク (メイクアップベース・コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー) チーク・ハイライト・ローライト・アイブロウ・アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ・リップ)
<b>試験規定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セッティングはテキストの通りに並べる</li> <li>・道具・手技はテキストに沿ったものにする</li> <li>・モデルに対してテキストに記載の添え手、目線の誘導、声かけを行う</li> <li>・メイクアップベース・コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラーはスパチュラを使用する</li> <li>・ファンデーションはブラシテクニックで仕上げる</li> <li>・フェイスパウダーはブラシで仕上げる</li> <li>・ハイライト・ローライトは卵型の顔型に近づくようにモデルの骨格に合わせて仕上げる</li> <li>・チークはモデルの骨格に合わせて仕上げる</li> <li>・肌の質感はハーフマットに仕上げる</li> <li>・アイブロウはペンシルとパウダーを使用し、基本バランスの眉に仕上げる</li> <li>・アイシャドウは3色を使用し、縦グラデーションに仕上げる</li> <li>・アイラインは黒のリキッドタイプを使用し、切れ長のラインに仕上げる(ペンシル・ジェルタイプは使用不可)</li> <li>・マスカラは黒を使用し、上下のまつ毛に塗布する</li> <li>・リップは赤を使用し、リップブラシのみで仕上げる(リップペンシル・リップグロスを使用不可)</li> <li>・必要な声掛け以外にモデルと会話はしない (必要な声掛けとは「失礼いたします」「目を開けて斜め上を見てください」「クレンジングをしますね」など)</li> <li>・試験終了時、ダッカード・ケープ・膝掛けを外さない</li> <li>・試験時間内にセッティングを整えて元の状態に戻す</li> </ul>
<b>モデル規定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16歳～54歳までの女性に限る</li> <li>・アートメイク・まつ毛パーマ・まつ毛エクステンション不可</li> <li>・試験会場に入る際はノーメイクの状態にしておく</li> <li>・試験中に受験者にアドバイスをしない</li> <li>・襟の空いた洋服を着る</li> <li>・試験中のマナーに気をつける(著しくマナーが悪いと試験官が判断した場合、受験者の減点対象とする)</li> </ul>
<b>失格対象項目</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻(試験説明開始時刻までに受付を済ませていない場合)</li> <li>・テキスト、他の受験者を見てセッティング・技術を行なった(カンニング行為)</li> <li>・モデルからのアドバイスがあった</li> <li>・試験官の指示に従わない場合</li> <li>・道具の貸し借りを行なった</li> <li>・審査中、試験終了の合図の後に手を加えた</li> <li>・試験時間内に項目が終了しなかった</li> <li>・無断退室をした</li> </ul>



## 2級試験持参物一覧

ツール類	<input type="checkbox"/>	ケープ	モノトーン無地(フェイスタオルで代用可。タオルの場合はクリップを持参)
	<input type="checkbox"/>	膝掛け用タオル	モノトーン無地フェイスタオル
	<input type="checkbox"/>	セッティング用タオル	モノトーン無地フェイスタオル
	<input type="checkbox"/>	ゴミ袋とセロハンテープ	ゴミ袋サイズは25cmX35cm程度(テーブルの上にゴミ箱を置くでも可)
	<input type="checkbox"/>	A4サイズ以上のスタンドミラー	モデルの顔全体が映り自立するもの
	<input type="checkbox"/>	ティッシュペーパー	三角に四つ折りしたもの(ボックスのまま、ポケットティッシュ使用不可)
	<input type="checkbox"/>	コットン	6cmX8cm程度の大判のもの(両端をプレスしたものは不可)
	<input type="checkbox"/>	綿棒	白(先の尖ったものは不可)
	<input type="checkbox"/>	スポンジ	厚みのあるもの
	<input type="checkbox"/>	パウダーパフ	直径9cm程度の大判のもの
	<input type="checkbox"/>	髪留め用ヘアピン類	ダッカーール・ダブルピン・シングルピンなど
	<input type="checkbox"/>	スパチュラ	パレット・ミクロスパーテルの併用可(スパチュラは必須)
	<input type="checkbox"/>	消毒液	コットンに含ませて使用できるもの (詰め替える場合は消毒液と記載したラベルを貼る)
ブラシ類	<input type="checkbox"/>	ブラシ類	ファンデーション・フェイスパウダー・チーク・ハイライト・ローライト・アイブロウ・アイシャドウ・リップの施術はブラシ必須
化粧品類	<input type="checkbox"/>	ポイントメイクリムーバー	
	<input type="checkbox"/>	クレンジングローション	
	<input type="checkbox"/>	化粧水	
	<input type="checkbox"/>	乳液	
	<input type="checkbox"/>	メイクアップベース(化粧下地)	肌に色がつかないもの
	<input type="checkbox"/>	コントロールカラー	2色以上
	<input type="checkbox"/>	リキッドファンデーション	2色以上
	<input type="checkbox"/>	コンシーラー	2色以上
	<input type="checkbox"/>	フェイスパウダー	ルースタイプ(プレスタイプ不可)
	<input type="checkbox"/>	チーク	パウダータイプ
	<input type="checkbox"/>	ハイライト	パウダータイプ
	<input type="checkbox"/>	ローライト	パウダータイプ
	<input type="checkbox"/>	アイブロウペンシル	
	<input type="checkbox"/>	アイブロウパウダー	
	<input type="checkbox"/>	アイシャドウ	パウダータイプ 3色以上
	<input type="checkbox"/>	アイライナー	黒・リキッドタイプ(ペンシルタイプ・ジェルタイプ・ポットタイプ等不可)
	<input type="checkbox"/>	ビューラー	フルタイプ(部分タイプ・ホットビューラー不可)
	<input type="checkbox"/>	マスカラ	黒
	<input type="checkbox"/>	リップ	赤(リップペンシル・グロスタイプ 不可)

※化粧品は既製品に限り、テスター・トラベルサイズ・他ボトルへの詰め替え不可

# 2級試験の流れ

## ■2級試験の流れ



# 2級試験のセッティングと仕上がり

## ■セッティング

セッティングのポイントは、「清潔」「整理整頓」です。



## ■2級試験課題の見本

